

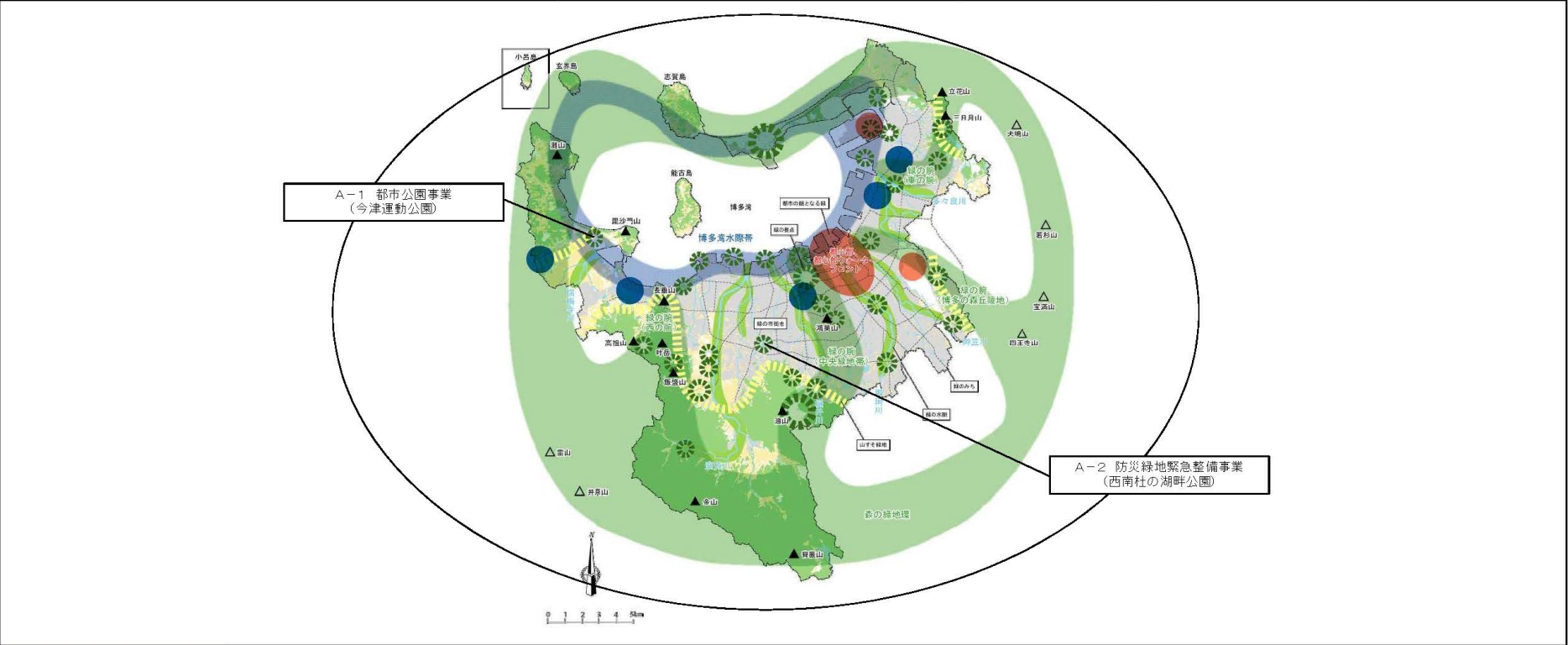
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県	市町村名	福岡市	計画の名称	安全・安心を支える緑づくり(防災・安全)		
計画期間	令和2年度 ～ 令和6年度	事後評価実施時期	令和6年度	全体事業費	99百万円	国費率	1/2
1)事業の実施状況	対象事業	要素事業名					
		A 基幹事業	○都市公園事業(今津運動公園) ○防災緑地緊急整備事業(西南杜の湖畔公園)				
		B関連社会資本整備事業					
		○効果促進事業	-				
	進捗状況	その他関連する事業	-				
		A 基幹事業	要素事業名	事業内容(延長・面積等)		事業進捗(令和6年度末時点)	次期計画
			○都市公園事業(今津運動公園)	野球場整備等		完了	-
			○防災緑地緊急整備事業(西南杜の湖畔公園)	都市開発資金償還		完了	-
		B関連社会資本整備事業					
		○効果促進事業					
		その他関連する事業					
2)事業の効果発現状況	成果目標の達成状況 ※算定対象		指標名	当初現況値	目標値	実績値	結果の分析及び目標値と実績値に差が出た要因
			地域の防災対策が充実していると感じる市民の割合	39%	50%	42.8% ※ R5年度	「地域の防災対策が充実していると感じる市民の割合」について、目標値には達していないものの、計画当初よりも38ポイント増となっており、着実にアンケートの割合を伸ばしている。地域の防災対策とは、公園整備だけでなくソフト面での整備も含まれるため、今後はソフトと一体となった事業展開が必要。
成果目標以外の要素事業の効果発現状況 (定性的な効果)		・有事の際に避難場所となる公園において、平時における公園緑地空間の確保および創出。					
3)その他	今後の方針		・有事に備え、防災・減災に資する公共空間の維持および管理運営に努める。				

様式2-2 計画の概要

「安全・安心を支える緑づくり(防災・安全)」の成果概要

事業の目的	成果指標	当初現況地	目標値	実績値
緑による都市の防災、減災対策を推進するため、災害時等に避難場所となる公園・緑地の整備を進める。	①地域の防災対策が充実していると感じる市民の割合	39%	50%	42.8% ※R5年度



主な事業効果	・広域避難場所に指定されている大規模な公園の整備などをすることで、緑による都市の防災、減災対策に資する公共空間を創出することができた。
--------	---